

平成 2 8 年 第 1 2 回
仙 北 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録
平 成 2 8 年 1 0 月 2 7 日

仙 北 市 教 育 委 員 会

平成28年第12回仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 平成28年 10月27日(木) 午後2時～

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

委員長	安部 哲男
委員長職務代理者	河原田 修
委員	佐久間健一
委員	坂本 佐穂
教育長	熊谷 徹

4 出席した事務局職員

教育部長	畠山 靖
教育次長兼教育総務課長	田口 和典
教育次長兼スポーツ振興課長	高橋 和宏
教育総務課参事	能美 正俊
北浦教育文化研究所長	浦山 英一郎
教育総務課参事兼田沢湖学校給食センター所長	伊藤 静子
教育総務課参事兼角館学校給食センター所長	千葉 幸仁
教育総務課参事兼西木学校給食センター所長	芳賀満希子
生涯学習課長	黒澤久美子
田沢湖公民館長	佐々木幸美
角館公民館長	草薨 正勝
西木公民館長	山田 且也
生涯学習課参事兼田沢湖図書館長	松田 修子
生涯学習課参事兼学習資料館・イベント交流館長	冨木 弘一

5 議事

(1) 報告事項

報告第43号 仙北市総合給食センター(仮称)建設検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱制定について

6 審議の経過及び結果

(安部委員長)

ただ今から平成28年第12回仙北市教育委員会10月定例会を開催いたします。

次第により会議を進めさせていただきます。書記には朝水参事、栗原主査を任命いたします。議事録署名は、河原田職務代理者と坂本委員にお願いいたします。前回会議録の承認については、会議終了後にお願いいたします。

次に、私から挨拶をさせていただきます。私は今朝の新聞で初めて知ったのですが、新潮社記念文学館館長の高井有一先生の逝去が報じられておりました。仙北市には多大な貢献をされてこられた高井先生の逝去には、たいへん残念な思いがあります。その逝去を惜しんで、哀悼の意を表したいと思っております。心からこれまでのご労苦に感謝を申し上げ

げます。なお、高井先生の葬儀関係等につきましては、教育長からお話をいただきます。
(熊谷教育長)

ただいま、委員長からお話がありました、高井先生の件につきましては、教育委員会、図書館に御貢献なされた素晴らしい方で、芥川賞をとっていらっしゃるし、これまで図書館の文化講演会にも、素晴らしい方々を角館に連れてこられました。私たちも深く哀悼の意を表したいと思っております。富木館長を中心に連絡調整しています。

(富木学習資料館兼イベント交流館長)

昨日の夕方、高井先生が亡くなったというご一報をいただきました。市長がちょうど上京中でしたので、すぐに連絡をとりました。今朝、高井先生の奥様にご連絡をさせていただいたところ、身内だけで先に葬儀を済ませたいということでした。市長がご挨拶にお伺いしたいと連絡をとりましたところ、すでに斎場に遺体を安置しているということで、今日の午前中に弔問していただくことになりました。後程、送る会という形で出版社と連絡をとりながら催す予定だということでしたので、日程が合いましたら、関係者を出席させていただきたいと思っております。今日、図書館後援会と仙北市長名で弔電をお送りしております。図書館後援会でも、役員会を開いて今後の対応をご相談いただくということで、連絡をとりながら進めたいと思います。

(安部委員長)

いろいろとご難儀をおかけしました。適切な対応をありがとうございます。

次に、教育長の報告をお願いします。

(熊谷教育長)

それでは、10月教育委員会定例会の事務報告をさせていただきます。

—資料により報告—

(安部委員長)

ただいまの教育長の事務報告に質問はありませんか。

では、私から質問します。10月6日に南教育事務所市町村訪問があったようですが、特に印象に残ったこと、あるいは、指導を受けたことがあったら教えてください。

(黒澤生涯学習課長)

南教育事務所の社会教育主事の方々4名と県の生涯学習課の方から社会教育主事1名がいらっしゃいまして、南教育事務所で管轄しております「南の教育」の社会教育部門の施策に対して、市がどのように取り組んでいるかの摺合せでした。こちらとしては、社会教育の中期計画に基づいて事業をいろいろやっているわけなんですけれども、そちらの事業についてのPDCAをどのようにやっているかという指摘を受けました。社会教育委員の方々から、年度当初と年度末に計画の執行状況などの総評をいただいておりますけれども、年の途中で、その事業に対しての検証といいますか、中間のチェックは必要ではないかということをおわれたところがございます。中間のものについては、実務担当者が、年度当初の計画がどうであるかを検証しなければいけないなということは、強く感じたところがございます。あとは、公民館事業ですとか図書館事業ですとかの説明をして、それに対しては、良くやってもらっているという感想等をいただきました。年に一度来ていただいているところですが、県の施策に基づいて、こちらがやっているところもありますので、それをどのように実行できているかを申し上げました。一番大きいところは、やはりPDCAのところで、事務方は年度当初と最終だけではなく、きちんとその都度検証して、ステップアップしなければいけないのではないかとおっしゃいました。

(安部委員長)

ありがとうございます。突然の指名で申し訳ありませんでした。ほかに質問はありま

せんか。なければ、議事に入ります。

報告第43号、仙北市総合給食センター（仮称）建設検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱制定について説明をお願いします。

（田口教育次長兼教育総務課長）

報告第43号、仙北市総合給食センター（仮称）建設検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱制定についてご説明いたします。端的に申し上げますと、仮称を削除するものでございます。

—資料により説明—

（安部委員長）

報告第43号についての説明がありました。質問、意見はありませんか。

—質問なし—

それでは、報告第43号は承認することといたします。

次は、いじめ、不登校対策について説明を求めます。

（浦山北浦教育文化研究所長）

9月のいじめ、不登校の状況についてご報告いたします。はじめに、いじめについては小学校11件、中学校3件、計14件の報告がありました。学年集会や学級指導、個別指導等を行いまして、13件は解消、1件は継続観察をしております。次に、9月の不登校は、小学生1名、中学生12名、計13名です。9月の報告は以上です。

（安部委員長）

いじめ、不登校対策について報告がありました。何か質問はありませんか。

—質問なし—

その他で何かありませんか。

（浦山北浦教育文化研究所長）

現在、学校適正配置研究検討委員会を進めておりまして、10月25日に第3回の委員会を開催しております。前回のテーマが「将来を見据えた仙北市の子どもにとっての望ましい教育環境について」で、サブテーマが「統合を検討せざるを得ない状況とは」ということで、6時半から7時半までご協議いただきました。このあとですけれども、11月に第4回、12月に第5回の委員会を開催しまして、提言を取りまとめたと考えております。

（富木学習資料館兼イベント交流館長）

2つご報告させていただきます。先ほど、高井先生が亡くなられたことを報告しましたが、それを受けまして、新潮社記念文学館の入り口の展示を、高井先生を追悼する形で大きい写真を掲示して、著作物と「北の河」の原稿を展示しまして、哀悼を表する形での展示替え作業をやらせていただきました。学習資料館は今月末まで曝書、蔵書点検で休館になっておりますが、11月のあたまからは、高井先生を追悼するコーナーを設ける準備をしたいと思います。皆様にも利用していただければと思います。それから、昨日と今日、小田野直武を紹介する番組をABS秋田放送で制作するというので、角館に取材に入らせていただいております。昨日、小田野家と学習資料館で解体新書を見たいということで、壇蜜さんに取材していただきました。今日、県立近代美術館で「不忍池囃」などの収録をする日程になっているようです。放送日時は確定しておりませんので、決まり次第ご報告いたします。

（朝水教育総務課参事）

お手元にございます、平成28年第11回仙北市教育委員会定例会会議録をご覧くださいと思います。ページに沿って説明いたします。

—資料により説明—

それから、大仙仙北美郷の教育委員会連絡会の日程ですが、11月21日の3時からグランデールガーデンで受付をしまして、その後、伝承館や武家屋敷等を観ていただきます。各市町、早く集まることがなかなかできなくて、遅い時間でなければ集まらないということでしたので、一番近い地区でやらざるを得ない状況となってしまいました。教育長の事務報告で、次回定例会が11月24日ということでしたが、議会事務局の方から12月定例会の開会が早まって、11月29日に開会したいということで、それに伴って議会運営委員会が11月22日に開かれることになりました。11月の定例会には、12月議会の補正予算や行政報告等も報告したいので、通常であれば議会運営委員会前に委員会を開かなければということで、部長と相談させていただいたのですが、もし、ご都合がよろしければ、21日の大仙仙北美郷連絡会がある日の午後1時ころからの開催ではいかがでしょうか。

(安部委員長)

皆さんいいそうです。

(安部委員長)

最後に私からのお願いを一つ皆さんにしたいと思います。先日、市民の方からこんな言葉をいただきました。これは、一部の人であって、教育委員会だとかではなく、市役所全体という意味でとらえていただきたいのですが、市役所の方は、何かものを頼んだりお願いした時、とてもいい対応をしてくれるけれども、梨の礫で返答が無いのが残念だということでした。すべてがそうだとは思いませんが、一度お願いしたことを改めてお願いしたり、どうなったのかを聞くのも勇気が要ることだと感じているようでした。話が通じたのか通じなかったのかはっきりしないままに、時間が過ぎてしまって、最後に残るのは行政に対する不信感ということになりかねないこともあるのかなと危惧しました。ですから、お願いされたことに対しては、実現する、しないは別にして、検討した結果こうなりましたということを伝えていただければ、そのような不信感を払拭することができるのではないかと思います。今までもそれぞれきちんとやられてると思うんですが、まだまだ不十分なところもあったために、こういう言葉が聞こえてくるのかなと感じております。ここにおられる皆さんは、それぞれの職場で、全職員にこのようなことを伝えていただければたいへんありがたいと思います。そういう積み重ねが、市民とともに市政をやっていくという実現の第一歩になるんじゃないかなと考えたので、最後にお願いをしました。以上です。

7 閉会宣言 平成28年10月27日 午後2時30分